

第51回在宅医療勉強会 2014/07/14

# 高齢者の熱中症

川崎高津診療所

松井英男

# 熱中症

脱水  
高体温

# 高齢者の生理的な特徴

- 細胞内の水分が少ない
- 口渇中枢の機能低下
- 発汗の減少
- 腎臓機能の低下(障害)
- 利尿剤の内服

# 脱水

- 循環血液量の減少
- 脳循環の減少
  - めまい, 頭痛, 嘔気
  - 意識障害
- 電解質の異常
  - 筋肉痛
  - 意識障害



# 脱水の治療

水分補給  
点滴

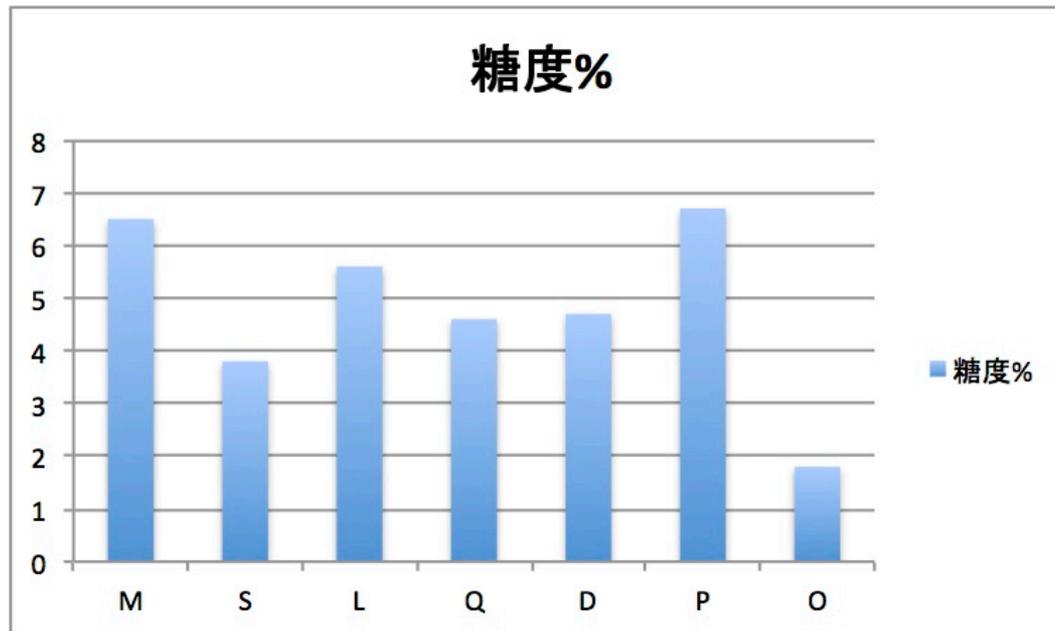
# 水分として何がよいか？

- 水やお茶
- 生理的食塩水(に近いもの)
  - 水500mLに食塩4.5 g(小さじ1杯)
  - 量の目安は尿量をみながら
- 水＋塩分(梅干し)



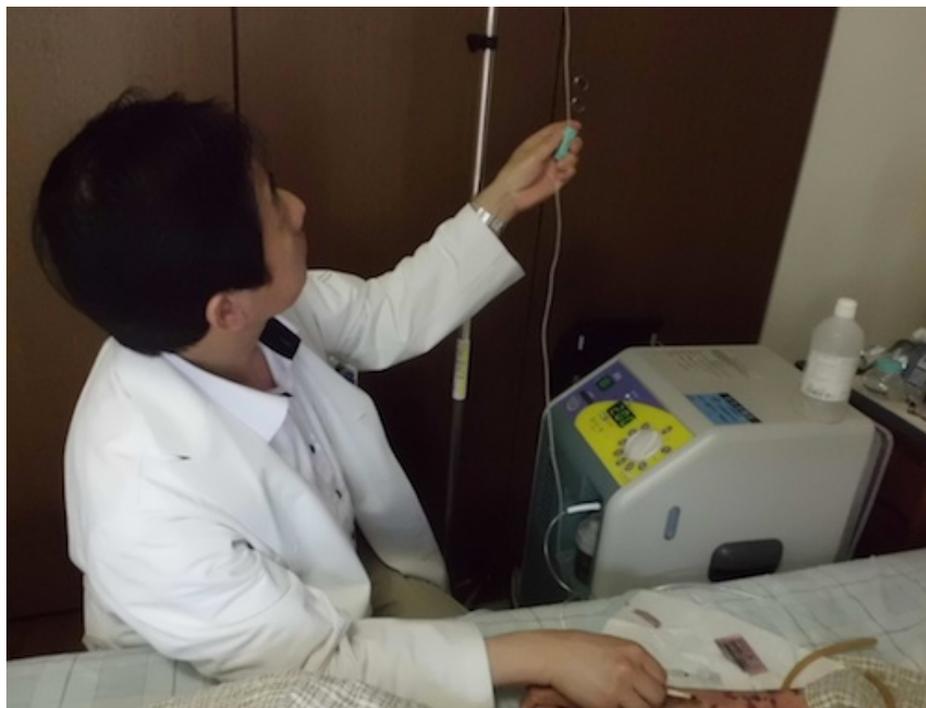
# スポーツドリンクは良いか？

- ペットボトル症候群（急性糖尿病）
- 甘味料＝有機塩素化合物



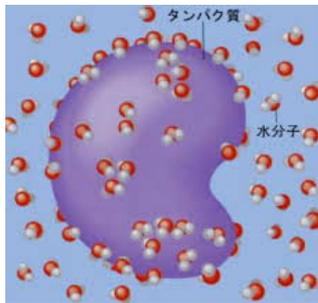
# 点滴

- めまいや嘔気で食事ができない
- 高齢者では点滴治療が必要



# 高体温

- 急に気温が上がる(順応できない)
- 湿度が高い(発汗できない)
- 体温が45度を越えると細胞が機能しない
  - 細胞内の水分子の変化
  - 蛋白質が働かなくなる

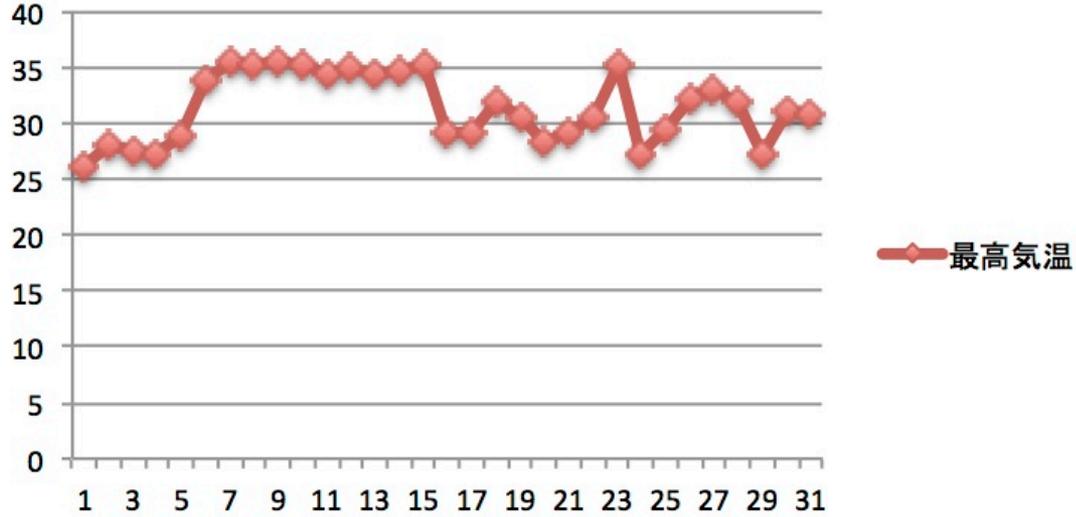


# 動物の熱中症

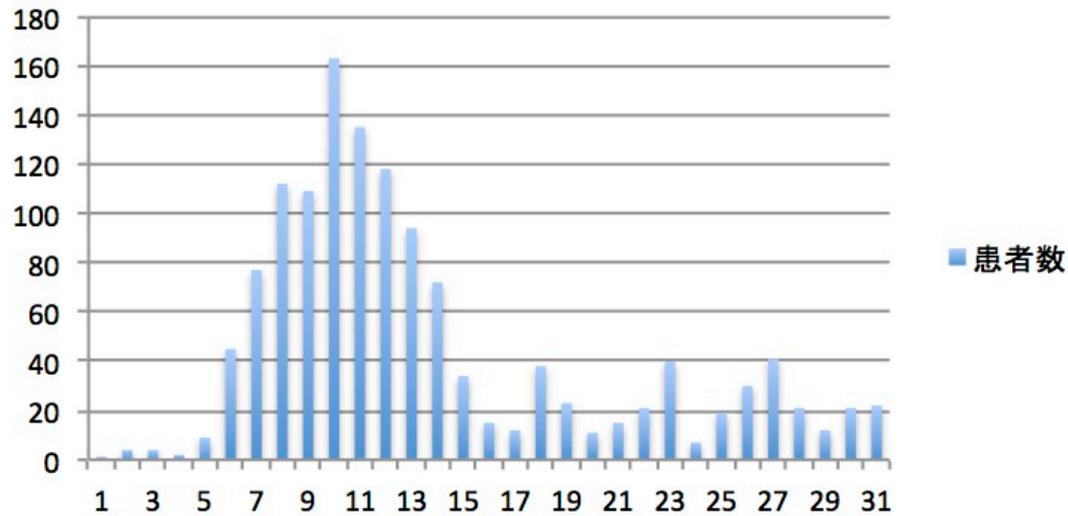
- イヌ
  - 体毛で熱の発散ができない
  - 地面近くは気温が高い
- 魚
  - 水温があがり水中の酸素が減少



## 最高气温



## 患者数

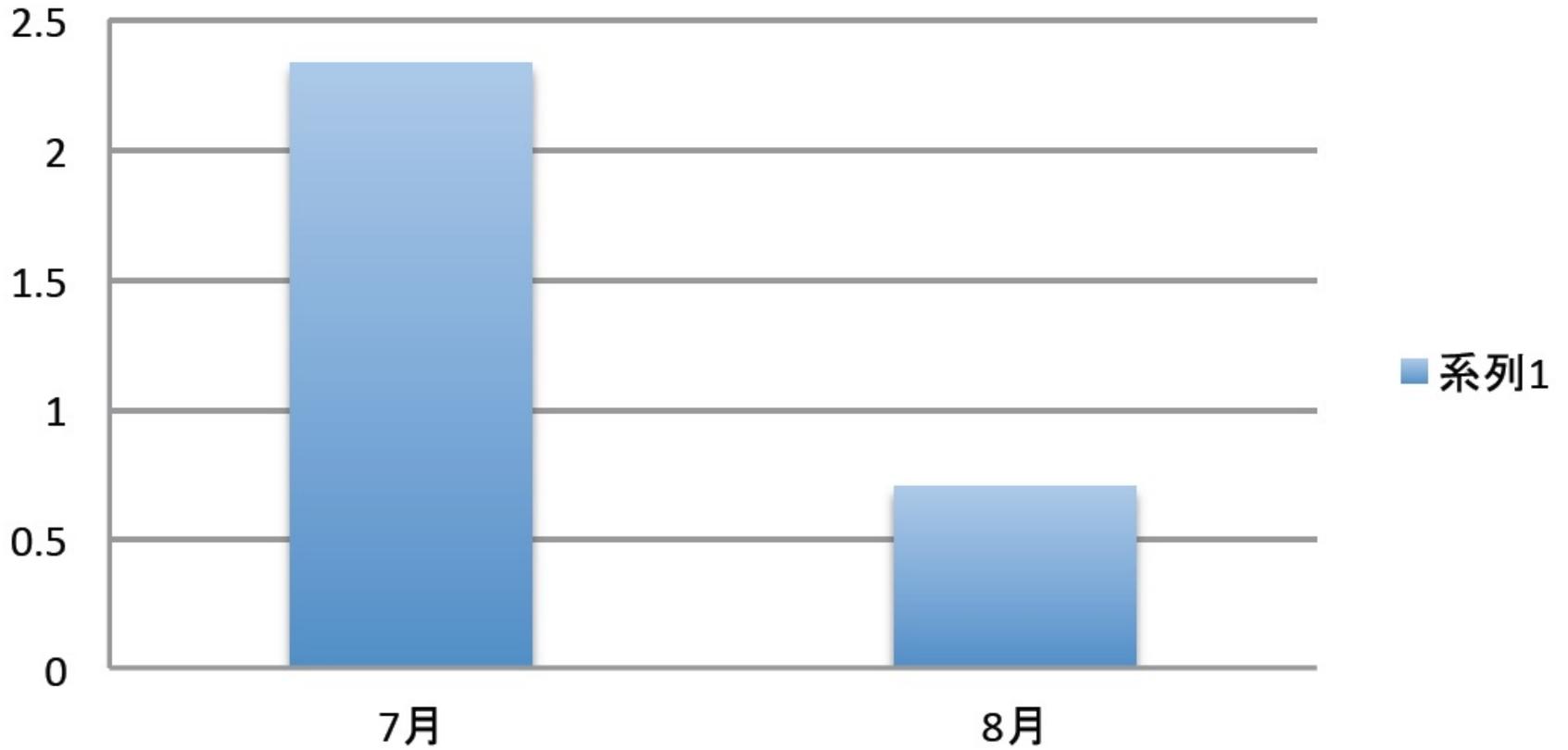


東京都特別区  
救急搬送件数2013年7月

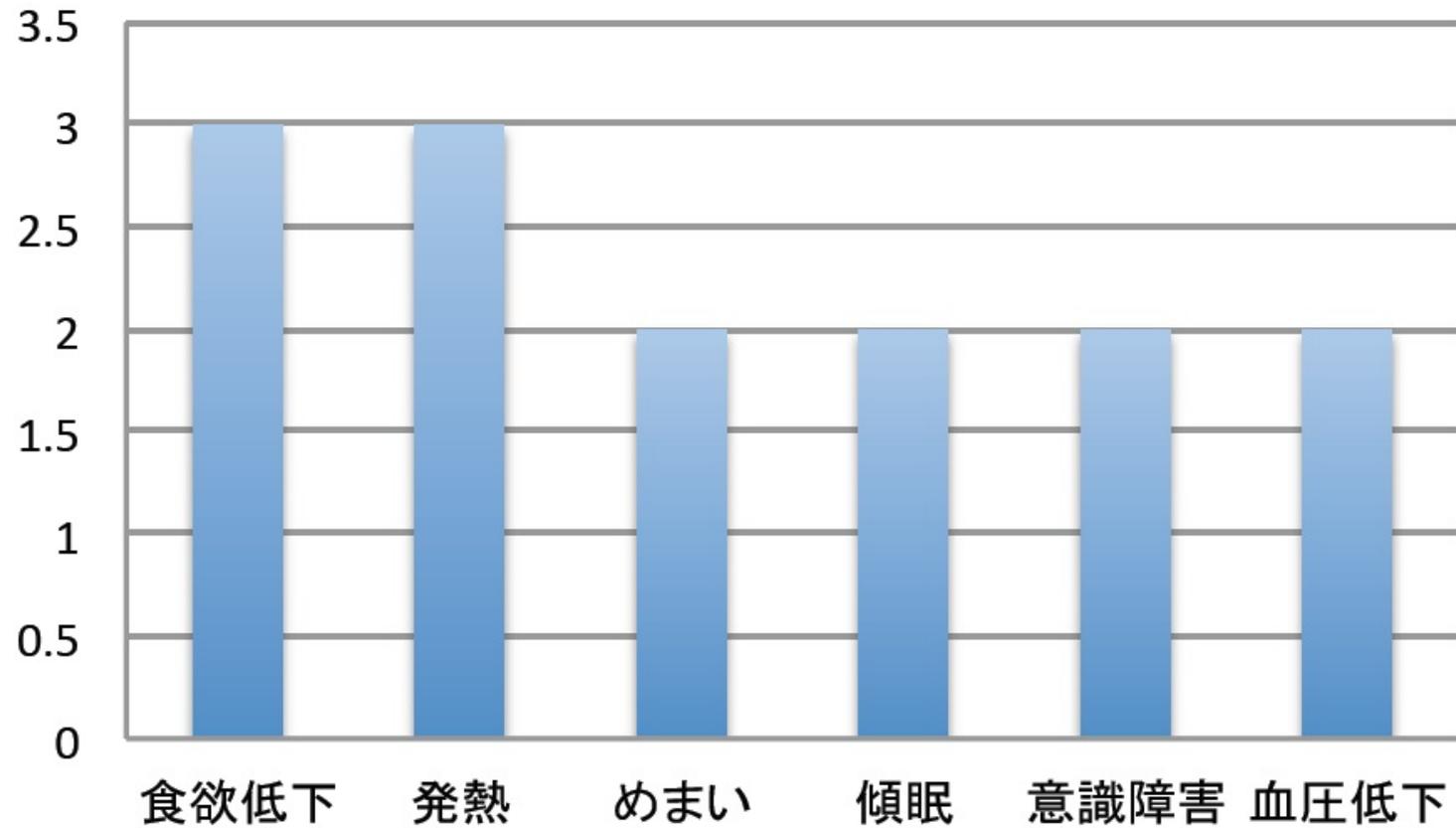
# 2.33

在宅患者の熱中症発生率  
患者1,000人1日あたり(2013年7月)

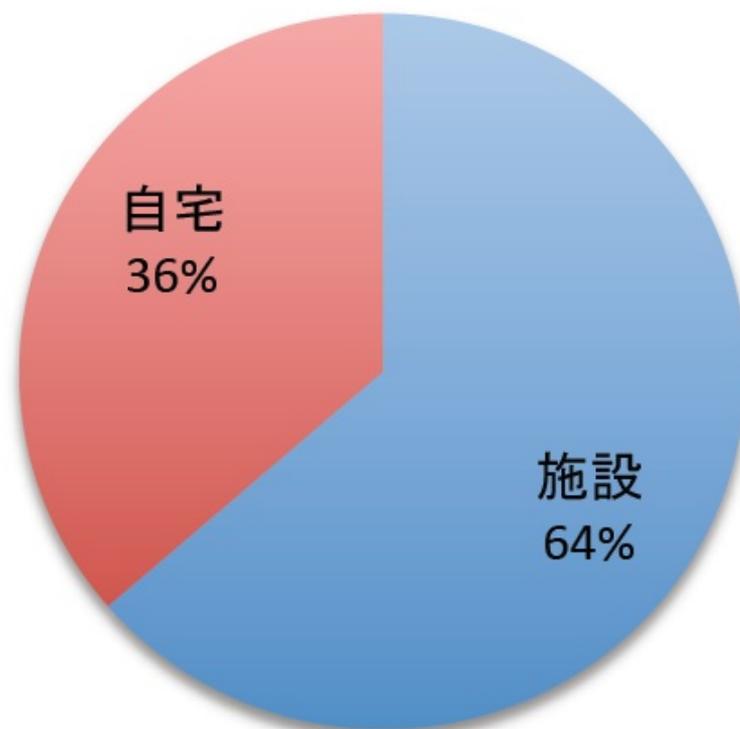
# 熱中症発生率



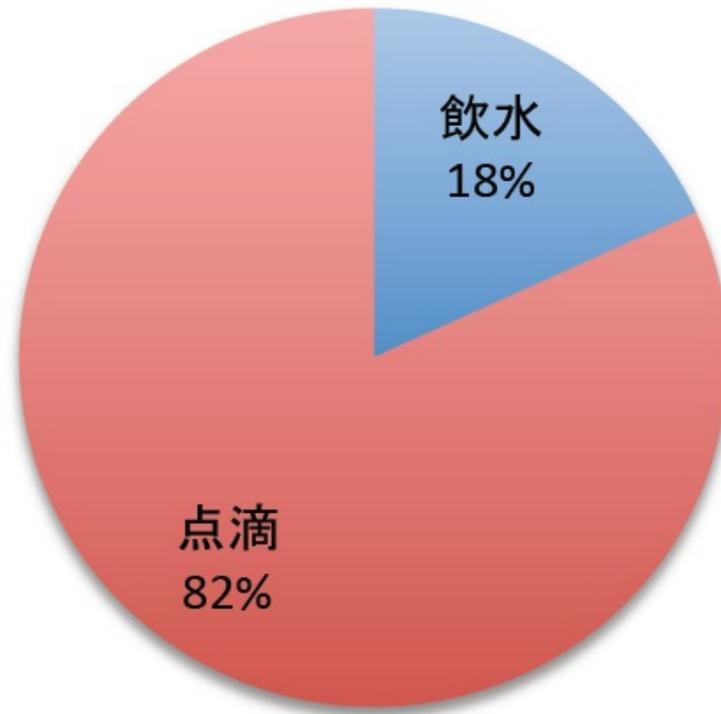
# 臨床症状



# 発生場所



# 治療



# 在宅患者の熱中症

- 気温が急に上がった時期に多い
- 自宅での発生件数は少ない
- 独居患者では重篤化
- 食欲不振, 嘔気, めまいなどの初期症状
- 「暑さ慣れ」で発生率は低下
- 熱ストレスに関する体質が関与？

# 熱中症関連遺伝子

- CPTII
  - 重症熱中症患者で変異
  - ミトコンドリアでのエネルギー産生
- HSP-16.1
  - 熱ストレス蛋白(線虫)
  - カルシウム濃度維持

暑さに強いか弱いかは  
遺伝子が関与

ご清聴, ありがとうございます！

今後とも, 川崎高津診療所をよろしく  
お願いいたします

松井英男